

市長と語ろう! 笠間タウントーク

市政懇談会 報告



笠間公民館であいさつを述べる山口市長 (6月30日)

6・7月にかけて、市民の皆さんを対象として開催した全14回の市政懇談会の内容の一部を紹介いたします。他にも各地域の課題等についてたくさんのご意見をいただきました。詳しくは、笠間市ホームページ「市政懇談会(平成25年度)」をご覧ください。

高齢者の購買支援について

Q 自分の運転に不安を感じる高齢者が、日用品の買い物のために、デマンドタクシーを利用するにはお金がかかる。スーパーをつくってほしい訳ではないが、高齢者のために買い物ができるような方法を考えてほしい。

A 高齢化が急速に進み、笠間市の25%は65歳以上です。ひとり暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯などが、農村部を中心に増えています。デマンドタクシーだけではすべてが補えるとは考えていませんが、公共交通の一つとして考えて欲しいと思います。移動手段などは、すべてを行政で支えていくのは難しいので、日用品の買い物については、民間の移動販売などを積極的に誘導していくことも必要だと思っています。

生活道路の舗装について

Q 生活道路の舗装は4m以上でなければ難しいことはわかっているが、すでに舗装してある道路が傷んでいるので補修してほしい。排水の整備も併せて行ってほしい。

A 現在、砂利道を完全舗装する場合は4m以上を確保してから舗装するという基準で取り組んでいます。すでに舗装してある生活道路は4m以下でも補修しており、すぐに

対応できる場所については、ほぼ年度内には取り組むようにしています。

排水整備に関しては要望が多いので、要望があったところから、順次U字溝の整備等に取り組んでいきます。しかし用地の確保等の関係で時間がかかる場合もあります。

来栖本戸線と国道355号バイパスの開通時期について

Q 笠間駅南から国道355号の作りかけのバイパスと、市道がぶつかる下市毛あたりの先はいつごろ完成の予定なのか。

A 国道355号のバイパスは水戸線の跨線橋先^{こせきょう}のところまで止まっていますが、笠間駅の南から北吉原へ向かう県道笠間つくば線までつなげることを目標にしています。そのためには涸沼川に橋をかけなくてはならず、その工事に時間がかかっています。用地買収や橋梁の下部工事は済んでいます。工事の完成までは、まだ少しかかります。開通は平成26年度以降になってしまおうと思います。石井の交差点は現在改良中ですので、そこまでが国道355号整備のひとつの区切りとなります。

笠間支所跡地の利用について

Q 笠間支所を移転した場合、その跡地はどのように利用するのか。

A 現在、支所として利用しているプレハブは、震災時に国からの支援で建設したもので、取り壊さずに活用していきます。今後の方針はまだ決まっていませんので検討していきます。

ただ、合併により公共施設がかなり増えたので、利用法については地元区長と意見交換をしながら公共施設に拘らず、幅広く考えていきたいと思っています。

ハイキングコースの整備について

Q 笠間富士(仏頂山)・愛宕山・難台山等、関東平野には素晴らしい山々がある。道標などを整備してPRしてはどうか。

A 愛宕山から難台山、吾国山を通じて福原につながるハイキングコースは、利用する方も多いので、分かりやすい看板の設置を今年から進めています。

河川の管理について

Q 河川の川底に土砂が溜まって川底が上がり、水が溢れてしまう。土砂の除去をしてほしい。

